

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-21C	21-026	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名 (原題/訳)		
Alcohol intake and risk of glioma: results from three prospective cohort studies アルコール摂取と神経膠腫のリスク : 3つの前向きコホート研究の結果		
執筆者		
Cote DJ, Samanic CM, Smith TR, Wang M, Smith-Warner SA, Stampfer MJ, Egan KM.		
掲載誌		
Eur J Epidemiol. 2021 Sep;36(9):965-974. doi: 10.1007/s10654-021-00800-1.		
キーワード		PMID
アルコール、ビール、コホート、疫学、膠芽腫、神経膠腫、酒、ワイン		34482513
要 旨		
<p>目的: アルコール摂取と神経膠腫との関連は明らかになっておらず、繰り返し測定により評価したアルコール摂取と神経膠腫の発生率との関連を 3つの大規模な前向きコホート研究の結果を用いて評価した。</p> <p>方法: 繰り返しのアルコール評価を行っている3つのコホート研究データを利用して、年齢、コホート、肥満度、喫煙状況、およびカロリー摂取量を調整し、Cox 比例ハザード回帰を用いて、合計のアルコール摂取量および各アルコール飲料からの摂取量による神経膠腫のハザード比 (HR) および 95%信頼区間 (CI) を求めた。解析は、神経膠腫全体と膠芽腫 (GBM) を別々に行なった。</p> <p>結果: 237,505 人、6,216,378 人年の追跡期間中に 554 例の神経膠腫の発生 (男性 211 例、女性 343 例、GBM362 例) が確認された。累積平均アルコール摂取量は神経膠腫のリスク低下と関連していた ($\leq 0.5\text{g}/\text{d}$ に対して、$> 8\sim 15\text{g}/\text{d}$ で $\text{HR}=0.75$ (95%CI: 0.56-0.99)、$> 15\text{g}/\text{d}$ で $\text{HR}=0.71$ (95%CI:0.53-0.96))。性別に層別すると、同じ比較で、男性の HR は 0.57 (95%CI: 0.36-0.89) と 0.79 (0.53-1.16)、女性は 0.90 (95%CI: 0.62-1.30)、0.62 (95%CI: 0.39-0.97) であった。結果は、累積平均値、ベースライン、最近の摂取量、4年のタイムラグで調べても一貫していた。</p> <p>結論: アルコール摂取は、男女ともに神経膠腫のリスク低下と関連していた。これはアルコール摂取と神経膠腫リスク増の関連に反した結果になるが、今回のコホートのアルコール摂取量が少量であることを考えると、少量または中等度のアルコール摂取は神経膠腫のリスクを軽減させるのかもしれない。</p>		